２０１７年

鎌倉人・第３０号・新春号
鎌倉市議会議員
永田　まりな

１９８３年２月１９日生まれ　３３歳　ＡＢ型　七里ガ浜在住
聖路加幼稚園、七里ヶ浜小学校、北鎌倉女子学園中学校、鎌倉高等学校、フェリス女学院大学卒業
２００４年度ミス鎌倉　鎌倉ケーブルテレビリポーターを経て大学卒業後はフリーアナウンサーとして活動
２０１３年市政へ挑戦　４月鎌倉市議選初当選　総務常任委員会・広報委員会副委員長・農業委員会担当

２０１７年も宜しくお願い致します！

皆様からお預かりしました市議会議員の任期も残すところあと数ヶ月となりました。任期中、私たちの会派では様々な意見を本音でぶつけ合い、議論を重ね、「松尾市長のすすめる行政改革を実現しよう」と目標に向かって歩みをそろえてまいりました。最後の一歩まで力を合わせて働かせていただく所存です。また今年は私たち市議会議員、市長にとって締めくくりと新たな歩みを始める年です。次の一歩を歩みだすため皆さまの市政に対する声を聴かせていただきお力添えをお願いいたします！

永田まりなの２０１７年の目標

『常識にとらわれない』を目標に何事にも限界を作らず果敢にチャレンジをする一年にしたいと思います。これまでの自分の中での常識を超えて全ての事柄に真正面からぶつかっていきます!

本庁舎整備方針の検討状況について

「鎌倉の魅力を継承しつつ、次世代に過大な負担を残さない」ことを前提として、新しい時代にあった価値を提供できる公共施設の再編について具体的に検討を進めてきました。市民対話や協働・拡張ワークショップを通じ多くの市民の皆さんと対話を重ね、12 月 4 日に最後の市民対話の場が終了し、本庁舎整備方針(案)が策定されます。候補地としては現在地周辺、大船駅周辺、深沢地域国鉄跡地、周辺拠点資産の有効活用の４つの候補についてあらゆる面から(防災・減災、機能・性能、まちづくり、時間・コストなど)の評価軸を基に決定していくことになります。年明けには、本庁舎整備方針(案)のパブリックコメントの実施もあります。本庁舎整備は市民の皆さんにとっても大きな出来事だと思います。次世代に誇れる鎌倉を残すために、確定前に是非皆さんのお声を届けて下さい。

連絡先は
下記の通りです

〒248-0025　神奈川県鎌倉市七里ガ浜東 5-1-12
TEL/FAX　0467－31－1746
Email：nagatamarina2013@gmail.com
ＨＰ：http://nagata-marina.com/
ＦＢ:「永田まりな」で検索！
www.facebook.com/nagatamarina.kamakura
Twitter:@nagamari0219

毎月第３土曜日に市政報告会「まりな会」を実施中
（議会月を除く…詳しくは HP 等にてご確認ください）

【討議資料】

１２月議会一般質問報告（他項目については次号掲載）

１女性活躍推進について

Ｑ制度導入を提案している配偶者同行休業制度導入の検討状況は？（※配偶者同行休業制度とは…外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にするための休業制度、概ね３年以内とする、平成２５年１１月に地方自治体での条例化について総務大臣名で通知あり、県内では政令市を除く１５市のうち５市が条例化済み）→Ａ早期の制度導入に向けて組合と交渉中

Ｑセカンドキャリア（出産、子育て、介護などで一旦離職後、復職希望の方）希望を対象とした就職セミナーの実施状況と、今後について、アンケート等はとっていると聞くが、セミナーの最終目標を就職と市が捉えているのであればその場のアンケートだけでなく、参加者のフォローアップが必須と考えるが？また、参加人数がまだ少ないと聞くが、現在の従来の市のやる広報だけでなく、セミナー参加のターゲット層が多く出入りする、例えば、幼稚園、保育園、小学校、スーパーなどにチラシを置くなど効果的な広報の手法をとるべきでは？→Ａセミナー内容についてはアンケートでは好評なもののフォローアップはしていなかった、平成２９年度以降についてはフォローアップの実施についても検討していく、また、周知方法についてもご指摘いただいた場所への配布をしていく

Ｑ平成２９年度は女性の就労支援活動を行っている市民団体との協働事業があると聞いているがその内容は？そして市として最大の結果を出すために積極的に行政が担うべき最大限を考えてもらいたいが方針は？→Ａ「就労をする上で必要な知識を身に付ける」「就労する上での手段を身に付ける」「鎌倉市内の企業人事担当やトップとの懇談会」のテーマで年６回の開催を予定している、市としては会場の提供、講師の紹介、市の広報の活用、またその後の就労支援策の改善に向けてセミナーの充実を図り、最終的には市内の就労促進につなげていきたい

Ｑセカンドキャリアを希望される方の多くが出勤時間の観点からも市内就労を希望していると聞いている、市内には小規模の企業も多く、人材募集はしているが企業体力の面等からセカンドキャリアの受け入れが難しい事例も多いと聞いている、市内企業のニーズ調査やその後の就労希望者と市内企業とのマッチングまでしてもらいたいが？→Ａ平成２９年度に市内企業調査を行い雇用ターゲットの把握をし、その結果を踏まえ女性の就職応援セミナーの内容を検討し、市内企業との意見交換を行い、雇用の促進に繋げていきたい

Ｑブランクのあるセカンドキャリア希望の方の就労と、雇用側である企業の雇用促進を後押しするためにブランク明けに就労される方へ一定期間ウォーミングアップ期間を設け、その間、企業への支援を市が行う「インターンシップ」のような双方を応援するような取り組みは検討できないか？→Ａセカンドキャリア希望者の就労支援のための市内企業への支援策は必要だと認識している、ご提案の「インターンシップ」制度については先進事例を調査・研究していきたい

【総括】１１月にはかまくら女性の活躍推進シンポジウムが開催され、私も参加しました。しかし、ターゲットが女性なのか、女性の活躍を推進すべき企業の経営層なのか少し見えにくく、開催し鎌倉市としてどのような結果を得たかったのかあまり伝わってきませんでした。女性就労支援の施策においても、ターゲットとそれによってゴール（結果）をどこに設定するのかを明らかにしながら進めていっていただけるよう、今後も動向を注視し、提案をしていきたいと思います。